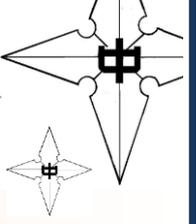


# 南浦和中だより



〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

FAX 048(836)1589 さわやか相談室直通

TEL 048(863)0753

TEL 048(837)5909

## 『ナイスな心意気』

校長 おおこうちのりかず 大河内 範一



令和2年末で活動を休止していた「嵐」の話である。嵐は結成から約25年が経っているのだが、国民的グループとして世間で騒がれていた頃でも、私は嵐を正確に把握していなかった。人数や構成メンバーなどもあやふやな状態だったのだが、ひょんなことから嵐の曲に出会い、CDを買い集めるようになった頃からは、家族全員が嵐ファンになった。そして、「嵐フェス」と呼ばれるライブのDVDを借りてきては喜んで鑑賞するような状況になると、私の嵐好きもかなり拍車が掛かっていた。もしも人事異動で嵐への加入が自分に打診されたとしたら、相当悩んでいたんじゃないだろうかと思うくらい、とにかく嵐は気になる存在になっていたのである。

嵐の曲を聴くと、その時々思い出が鮮明に蘇ってくる。『トラブルメーカー』は、娘が小学校の金管バンドに所属していた時、真夏の浦和まつりで汗をかきながら演奏していた曲。『ハピネス』は、私が小学校の教頭時代、マラソンの練習で低学年の児童たちとニコニコしながら一緒に走った時に校庭に流れていた曲、などなど…。嵐の曲は、まさしく人生の歴史と言っていい。

そんな嵐であるが、この5月、リーダーの大野智くんは「何度も話し合いを重ね、みんなで出した結論は、もう1度集まって嵐としてのコンサートを行い、コロナによって叶えられなかったファンの皆さんに直接感謝を伝えることをもって、5人での活動を終了する」と語った。「このまま終わっちゃうのかな」と絶望視していたファンや関係者のためを思い、最後の力を振り絞って再始動し、別れに向かっていくことになった。メンバー5人が揃った姿をいよいよ見られなくなるのかと思うと、一抹の寂しさを感じずにはいられないが、今回の彼らの決断には敬服している。

『立つ鳥 跡を濁さず』という言葉がある。立ち去る際には、残した場所に不快な痕跡を残さず、きちんと片付けて後始末をすることが大切だという意味である。別れ際のマナーや、引き際の美しさを表す言葉である。また、『散り際の美学』という言葉もある。桜が散る際に見せる独特の風情のように、物事の終わり際に見せる美しさ、潔さ(いさぎよさ)などを指している。人生では様々な場面で任期が終わったり、別れの時を迎えたりということが必ずある。突然無責任に辞めてうやむやにしたり、逆にいつまでも居座り続けて雰囲気悪くしたりという人がいるが、それは困ったものだ。嵐の決断や行動を見て、自分だったら去り際はどのように締めくくるのか、どのような振る舞いが美しいのかなど、各自が考える絶好の機会とされたい。

嵐の5人は解散までの1年間、最後の瞬間まで悔いなく駆け抜けてほしい。我々もこの南浦和中学校で一生懸命頑張るからさ。